



広報

うまじ

第231号

平成18年10月1日発行



雨にも負けず

元気のパワーを馬路村から

目次

馬路村防災訓練	②③
おじいちゃん・おばあちゃん おめでとう	④
馬路村社会福祉協議会発	⑤
キャリア教育を進める	⑥⑦
第26回 馬路おしどりマラソン大会	⑧
Mr.カールのフォト・エッセイ	⑨
Dr.高芝のうんちく・UNTIKU	⑩
ふるさとへの便り・フォト人ウォッチング	⑪
馬路村の歴史の伝説	⑫
赤ちゃん万歳・馬路村俳壇	⑬
お知らせ	⑭
村のできごと・村内あちらこちら	⑮

10月1日、早朝からの雨模様のなか、第15回おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会が行われました。スタート時、先行きが心配されそうな雨でしたが、時間がたつにつれ小雨に変わり、412人のうち368の方が完走されました。

地震発生

九月三日(日)快晴の中、馬路地区の自主防災会を主体とした防災訓練が行われました。避難訓練では、馬路地区民四百四十九人が参加し、また、村民運動場での初期消火訓練・救命講習には、百二十人の参加がありました。

(午前9時 地震発生)
馬路地区に地震発生を知らせるサイレン・有線放送が鳴り響いた。地震の最初の揺れは最低百秒以上続くということなので、サイレンの長さも百秒。

サイレンが終了すると直ちに各地区の自主防災会が定めている避難場所へ避難が始まった。今回、各地区の班長が拡声器で、「地震が発生しました。ただちに避難場所へ避難してください」と大声を出して避難を呼びかけた。避難訓練が終了したのち、各地区の班長が避難場所に集



避難場所へ集合し、話し合いを行った

合してもらった方の避難者リストと反省点を集約した。その中では、「避難場所が山側崩落等の危険性有り」「各班の担当エリアが把握しやすいよう各世帯名が記入された簡単な図面が欲しい」「無線を装備した方がよい」など、さま

ざまな報告が上がってきた。

今回、各地区での参加者数は、相名地区(百二十七人)、影地区(百二十六人)、東川地区(五十三人)、日浦地区(百七人)、朝日出地区(三十六人)であった。

(午前10時 村長あいさつ)
上治堂司村長のあいさつ。

「馬路村では津波はないが、山村ならではの山津波、道路の寸断、家屋倒壊などの危険がある。震災後すぐには公的な援助はなされない。そういう際は、人々の命を助けるのは地域の自主防災の力である。この防災訓練を機に自主防災会の活性化につなげて欲しい」と話した。

それを受け、役場職員(防災担当)が、「南海地震が三十年以内に50%の確率で起こるであろうと予想されています。馬路村の震度は5強から6弱になり、壁に亀裂が入り、古い家屋が倒壊したりします。



白煙が立ち込め目標物が見えにくい

家屋の補強や家具の転倒防止について備えておくことが大切です。また、地震や災害が発生すると、孤立する状態になると思います。二、三日、または、それ以上食料等が届かない事態が想定されますので、各家庭で食料・水・避難

生活用品を備えておくことが大切です」と説明した。

(午前10時10分 初期消火訓練)
中芸消防署の西山和則さんから、「消火器の使用動作はわずかに三つ。①黄色の安全ピンを抜く ②ホースを外し ③レバーを強く



く握る」、「放射時間が短いので燃えているものをよく確かめて、直接炎に当たると炎が飛び散る恐れがあるので周りから火を集めるように消火することが大切です」などの説明を受け、「よう消すろうか」と言いながらも、各地区の自

主防災会の参加者が、次々にヘルメットをかぶり消火訓練を実施。消火訓練中、風向きが変わり、本部席・見学席は白煙に包まれたりした。その後の講評では、「あわてて目標を確認せず消火器を使用すると、白煙で部屋の中の目標物が見えなくなることあります。また、火が消えたつもりでもちゃんと確認しておかないと再燃する恐れがあるので完全に火元を絶つように」と注意を受けた。

(午前10時40分 救命講習)

中芸消防署救急救命士の木下裕二さんが、「災害が起こったとき、馬路村は孤立する可能性があり、救急車が来ることがあてになりません。目の前で家族や友達が心肺停止や負傷した時、そのまましておくのか、それとも自分たちでできることをするのかで大きな違いが出てきます。『自分たちの命は自分たちで守る』今日は、ぜひ救命講習について学んでいただきたい」と話された。そして、人形を使用した救命講習が始まり、最初に呼びかけをして意識の有無の確認、周囲の人への連絡(助けを呼ぶ)、気道確保をして人工呼吸二回、胸に手を当て心臓マッサージを十五回

〈避難訓練に参加して〉

- ・安全確認後、避難ルートなども決めておけば良い。
- ・避難場所へ着いたら、自分の名前を必ずその避難所の責任者に告げるようにしたらいい。
- ・避難場所が多いので、安全確認ができていい。
- ・施設の耐震・安定度合により、避難場所としての適否検討が必要だと思う。
- ・隣近所の安全確認をし、一緒に避難してきた方が多かつた。
- ・自分がどこへ避難すればいいか分からなかつた。
- ・避難場所へ行くのに困難な方がいるが、援助を必要とする人の把握が地区の中でどれくらいできているのか!?
- ・どこで災害が起きるか分からないので、村内の避難所はすべて住民に周知するべきである。
- ・各班に無線を常備し、災害対策本部で情報収集・情報発信できるように体制をとる必要がある。
- ・今後、家族で十分な話し合いをしておく必要がある。

行った。また、AEDを使用した救命講習を行った。

最後に平山崇馬路消防団団長から、訓練の講評が行われた。「一人一人が、積極的に訓練に参加していただきたい。また、今回の訓練で行った事を今後に生かしていただきたい」と話した。

(午前11時10分 訓練終了)



熱心に訓練を見学しました



日ごろからの備えが大切です

馬路村社会福祉協議会発



▲ 体操やって百歳まで生きるぞね

こんにちは、馬路村社会福祉協議会です。今回は「健康ほっとサロン」事業を紹介いたします。

「健康ほっとサロン」は認知症予防、介護予防、高齢者食生活改善事業などを一つとした総合介護予防事業として、平成十二年四月にスタートして今年で七年目を迎えました。現在馬路地区二十人、魚梁瀬地区七人の方が参加してくれ

「いきいき百歳体操」を取り入れて要介護状態にならないように参加者全員努力しています。ビデオを見ながら行いますので興味のある方、体力をつけたい方がいましたら参加してみませんか。

ほっとサロンでは食事を楽しむの一つ

は安芸福祉保健所の協力で体力の維持向上を目指して

ています。事業の内容は、PPバンドを使ったカゴ作り、手芸、折り紙など参加者の方のやりたいことを自由にやってもらっています。ほっとサロンで作った作品は文化祭にも出展しますのでぜひご覧ください。

また、二年前から



▲ わたしら～食事のあとのおしゃべりも楽しみながよ～♪

「健康ほっとサロン」は昼食だけ食べたい、体操だけやってみたいという方も歓迎します。参加を希望される方はお気軽に馬路村社会福祉協議会（四二一〇二〇）までお問い合わせください。

なっています。栄養士さんが健康を考えた料理を季節のものも取り入れて作ってくれています。

高校生ボランティア体験学習

8月10日には安芸広域社会福祉協議会の「高校生ボランティア体験学習」事業で7人の高校生が1日ほっとサロンに参加させていただきました。

▼ わたしらも若返ったよ～



▲ やっぱり若いもんはえいね～

最初は馬路村に始めてきたという高校生もいて緊張して声が出なかつたりしましたが、午後からの風船バレーや玉入れなど高校生の考えたレクリエーションをすることで緊張もほぐれて楽しく過ごせました。

育を進める⑤

どもを育てよう～

村ぐるみでキャリア教育に取り取り始めて、1年半が過ぎようとしています。学校だけでなく、地域や保護者を巻き込んだ取り組みも徐々に増えてきました。その一端を紹介します。

笑顔であいさつ

馬路村では、馬路っ子六つの約束の一つである『笑顔であいさつができる』に、村ぐるみで取り組んでいます。

中学校では、生徒会が学期ごとに数回「あいさつ週間」を決め、朝、始業前に校門や道路に立ち、小学生や地域の人たちに元気のいいあいさつを行っています。保護者は、PTA活動として月一回街頭のあいさつ運動を行ったり、家庭や地域で今までの以上に意識して、子どもたちや出会った人に声をかけています。また、地域では、馬路婦人会が「今日もにっこりあいさつ運動」に取り組んでいます。この



生徒会のあいさつ運動



にっこり会のあいさつ運動

運動は、当会が保育所や学校、PTA、青年団、老人クラブ等との連携を深め、地域の人たちと一緒に子どもの健やかな成長を助け、地域全体であいさつができるように運動を行っています。月二回の街頭活動だけでなく、標語を募集し、あいさつ標柱を村内七カ所に設置するなど、村ぐるみでのあいさつ運動の輪が広まりつつあります。

このあいさつ運動により、地域の皆さまから、「近所の子どもたちがより身近な存在になった」「子どもたちの方から声をかけてきてくれるようになった」という、うれしい声も聞こえてくるようになりました。

レモン発、ゆず着

馬路村のキャリア教育を進めるにあたって、お手下としているのが、瀬戸内海の生口島にある尾道市立南小学校です。

この島はレモンの産地として知られ、小・中・高等学校計六校が島ぐるみで取り組んでいる地域です。

昨年度は二度、南小学校を訪問し、馬路村でキャリア教育を進めていくためにはどのようなすれば良いのか、また、村内四校が手を携えながらいくためには、どのようなことにしなければならぬのか等について学びました。

本年度は、去る八月二十五日、南小学校より、村上良一



南小学校村上校長先生

校長、尾後義孝教諭をお招きして、村内全教職員でキャリア教育についてのお話を聞きました。

幼児児童生徒が将来、社会人・職業人として自立するための根っことなる基本的な生活習慣、社会の基本ルールやマナーを身に付けるために掲げた『馬路っ子六つの約束』も『生口っ子七つの約束』を本としています。瀬戸田・因島地域においても「あいさつ（返事を含み）ができる」を第一に掲げ、児童会を中心に取り組んでいる例も紹介されました。

この研修会で学んだことが、十二月十四日に開催される「馬路村キャリア教育発表会」に向けての意欲づけにつながったことと思います。



キャリア教

～村ぐるみで子

～馬路っ子 6つの約束～

- ① 早寝・早起き・朝ご飯で元気なからだ。
- ② 笑顔であいさつができる。
- ③ 約束や時間を守ることができる。
- ④ 整理整頓や掃除ができる。
- ⑤ 話を静かに聞くことができる。
- ⑥ 考えや思いを話すことができる。



さて、いよいよ間伐体験です。今度は、門田さんから木の切り方について講習を受けました。大切なことは、「どのように木が倒れてくるか考

えて、退避場所を確保すること」、「どの木から切っていくべきか」など、見通しをもって作業することの大切さを学びました。
のこぎりやなた、くさびを用いての昔ながらの方法で挑戦した子どもたち。時間がたつにつれ力がこもった切り方になりました。歓声の中、倒れた木。高さは約二十メートル、年輪は三十八もありました。チェーンソーでのあつと



いう間の間伐には、子どもたちも時代の流れを感じたことでしょう。

学校の取り組み紹介

間伐体験

魚梁瀬小学校

九月十四日、当校の五、六年生七人が熊野神社の周辺で間伐体験学習をしました。先生は、地域に住む栢山逸男さん、門田豊重さんです。まず、栢山さんか

ら間伐の必要なわけについて説明を聞きました。「初めから間伐しなくてすむように間をあけて植林したらいいのではないか」という疑問に対して、「そのようにすると、まっすぐな木に育たない」とを分かりやすく教えていただきました。

生徒中心の生徒会活動に

馬路中学校

当校の生徒に見られる課題のひとつとして、少人数であるために人間関係が固定化しやすいということがあげられます。このことよって、小さいころの友だちのイメージがずっと潜在的に続いたり、柔軟な人間関係が築きにくかったりということがあります。



テーマにそってスピーチをする中学生

このことは、その後の無意識の行動にもつながることが多く、一旦悪いイメージを抱くとずっと続いたり、トラブルが発生した場合などに修復ができていくなどといったことがあります。この課題の解消の手だてとして、今年度、本校では生徒会活動の充実に取り組んでいます。特に委員会活動において、生徒中心でアイデアや考えを出しあい、みんなが協力して取り組みを進めています。そして全校集会の場で、しっか

九月十七日(日)、第二十
六回馬路おしどりマラソン
大会が開催されました。台
風13号の接近が心配される
なか、3kmの部、九十八組
5kmの部、二十六組のおし
どりランナーがコミュニニテ
イセンターうまじを午前十
時スタート。ランナーの熱
気のおかげか、開会式から
ゴールまでは小雨模様。全
員が笑顔でゴールしました。



第26回馬路おしどりマラソン大会

手をつなぎ仲よく笑顔で

Mr. カールの エッセイ



⑦
 外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン
 (アメリカ合衆国ミネソタ州サークルバインズ 出身)

夏の思い出

夏休みも終わり、学校もまた始まった。今号では、この夏を特別なものにしてくれた三つの出来事について、簡単に書きたいと思う。

一つめは、そう、僕は日本の運転免許テストに合格した。たいへん難しいテストで僕は3回受けた。でも、一所懸命勉強して合格した。写真は僕の新しい運転免許証だ。



夏の特別な出来事の一つめは、お客さんが来たことだ。僕には東アメリカ、ペンシルベニア州出身の親友がおり、その親友が僕を訪ねて馬路に来た。親友の名前は、バーネット・カレンと言い、僕は彼女をバーニーと呼んでいる。バーニーと僕は中学校に通っていた時からの友達だ。でも、バーニーが東アメリカに住み、僕が中西部の中心地に住むようになってから、僕たちはほとんど会っていない。バーニーがこの夏に馬路を訪れて、3年ぶりに会った。彼女と再会できたのはとても喜ばしいことだったし、彼女が高知県についての発見をしていくのを見るのは、さらにうれしいことだった。

バーニーにとっては初めての日本訪問だった。彼女は関西空港に着いてそのまま、高知へそして馬路村にやって来た。バーニーはとても大きな都市の出身だ。だから、彼女は高くそして果てしない山々に囲まれた馬路の風景を見てショック

を受けた。馬路に来る道中、彼女はこの細い道路をすごく怖がっていた。でもそれは長くは続かなかった。一日たって馬路に落ち着き、時差になれたバーニーと僕は高知県の探検に出かけた。

僕たちは東洋町生見から大月町へ行き、道に沿ってサーフィン、シュノーケリング、そして水泳を楽しんだ。幸運にもその日、土佐清水市で花火大会が行われていた。バーニーは女性が全員きれいな浴衣を着ていたのに魅せられていた。彼女はいろいろなアメリカとは異なるおいしい日本の食べ物、飲み物を口にするのを本当に楽しんでいた。バーニーと僕は一緒に楽しい時間を過ごした、でも最後にちょっと困った問題が起こった。

僕たちは日本から帰るバーニーの飛行機に乗り遅れてしまったのだ。そう、それは大きな失敗だった。僕たちは車で馬路から関西空港行きのフェリーに乗るために淡路島へ向かった。僕たちはフェリーがちょうどドックから離れようとした時にフェリー乗り場に着いた。本当におしかなかったんだ。遠い道のりであったのと盆休みの週末が重なり交通量が多く、車がなかなか進まなかったのに違いない。出発時間に間に合わなかったのだ。

それでも最後にはバーニーはアメリカの家になんとか帰りついた。彼女は、楽しい時間を過ごしたし、そして馬路のような類のない土地を訪問したのはとても幸運だったと言った。



▲ モンキーパークにいるバーニー

英語、英語、英語。この夏を特別にしてくれた三つ目の出来事は大人対象の三つの英会話クラスを教えたことだ。二つのクラスは馬路で一つは魚梁瀬だった。それぞれのクラスに刺激的で楽しい生徒がいた。僕は生徒のみんなと交流し、学ぶ時間を本当に楽しんだ。英会話クラスはこの夏を楽しく、そして、良い思い出にしてくれた。ありがとう。

英会話教室としてお客さま

馬路村を健康優良村に

敬老会、運動会、マラソン大会と、行事が目白押しのお秋ですが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、馬路村役場では、今年から三年計画で健康問題に特に力を入れて取り組んでいます。

その取り組みとして、広報でもお知らせ致しましたように、八月、村内の二十歳から四十九歳までの方に、紙メジャーを配布いたしました。お一人お一人にメジャーが行き渡りましたでしょうか。

「健康づくり婦人会」の皆さまにも協力していただき、配布・回収がすべて終了しました。

現在、健康福祉課で集計作業が行われている最中ですが、回収率は約三十八パーセントのようです。(回答いただいたデータは大切な個人の情報ですので、十分取り扱いに注意しながら作業をすすめます。) 平均値などの結果はまだ計算できていませんが、整えば、まず講演会で発表させていただきます、その後広報でも報告いたしたいと考えています。

それでは、今後の予定をお知らせします。

①講演「三・一・二お弁当箱ダイエット法」

(平成18年10月6日)
自分にぴったりの食事の量をご存知ですか？

お弁当箱を使って食事の量やバランスを決める手軽な方法をご紹介します。

なでしこの会の西村美恵管理栄養士を講師にお迎えし実施します。

②講演・実習

(平成18年10月13日)

第一部「講演」

メタボリックシンドロームと今回の事業について、私高芝が講演を行います。

人の健康を支える食事と運動について、皆さんと一緒に考えたいと思いますので、ぜひ率直なご意見を聞かせてください。

第二部「ウォーキング」

皆さんは正しい歩き方をご存知ですか？

同じ時間・同じ距離を歩いても、姿勢や歩き方でその効果は大きく変わります。

ウォーキングを通して、日ごろの運動不足を補い、ついでに腹囲も減らしてみませんか。

当村の小谷保健師が効果的なウォーキングの方法をご紹介します。

③実習「三・一・二お弁当箱ダイエット法」

(平成18年10月20日)

西村美恵管理栄養士指導のもと、ヘルスメイトのご協力を受けて、実際に調理済みの食材をお弁当に詰めます。

半分を主食三・主菜一・副菜二の割合でお弁当を作ることで、難しいカロリー計算なしに、必要な量の食事を適切な栄養バランスでとることが出来ます。

現状の食生活との違いを知り、今後の目安にできるように実施します。

これらの企画は、事業の目的上、対象者を限定させていただきます。しかし、対

象者でない方も、健康づくりを楽しみながら行い、長く続けることができるよう教育委員会とも連携して、他にもイベントを企画中です。ぜひお楽しみに。

「馬路村を健康優良村に」

皆さんの厚いご協力をお願い致します。



40才男性で事務職だと700mlの大きさ

主食 (ごはん) 3
主菜 (肉や魚) 1
副菜 (その他) 2

▲ 国保だよりNo.281より転載



ふるさと の便り 20

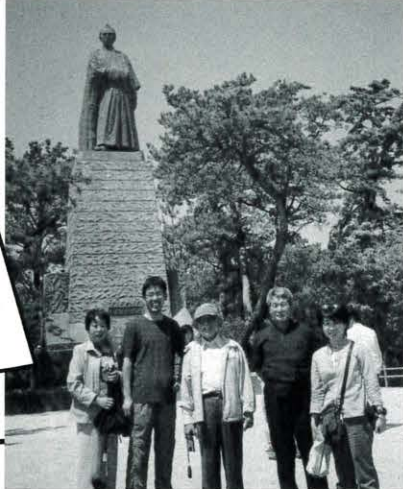
高校卒業後、名古屋市内に就職。縁あって小牧市の農家の二男に嫁ぎ、二人の子ども（二男一女）も成長して、おのおのが良い伴侶に恵まれて新しい家庭を築きました。小牧の地で今は主人と二人の生活です。結婚後長年勤めていた鉄工会社も、長女に二人目の孫が生まれることを期に退職。新しい命を待ちながら介護ヘルパー二級の講座を受講しました。その資格を生かし、現在は訪問介護ヘルパーとして利用者さんに教えられ、泣いたり、笑ったり、落ち込んだりとしながら、日々各家庭を訪問しています。

昨年は、愛知万博にもボランティアとして参加。自己紹介の折りに、『ゆずポン酢の里、馬路村出身』と始めると、みなさんの「知っている」「おいしい」の声にうれしくなりました。

今はポン酢だけでなくいろいろマスコミに取り上げられすつかり全国区ですね。先日は、中日新聞にモナツカが紹介されました。

さて、写真ですが、一昨年長男夫婦、嫁の両親、私たち夫婦の六人で高知へ旅行した時のものです。それぞれの地から出発、高知空港に集合し、以後は旅行会社に勤めている息子たちにすべてお任せ。船でのホエールウォッチングでクジラやイルカの大群に老いも若き

ふるさと
道は...
愛知県小牧市
佐々木 史恵
(旧姓門脇)



も歓声を上げ、市内見物などを楽しみ、馬路温泉にも一泊、親や親戚の方々に歓待を受け、皿鉢料理をかこんで楽しい一夜を過ごしました。帰りには、台風に見送られるというおまけ付きでしたが良い思い出です。

馬路へは、五年ほど前から柚子の取り入れを口実に、十一月になると帰り、両親（門脇武志・美子）の顔を見させてもらっています。安田川沿いの村に向かう道は、故郷へ向かううれしさがあります。

二人暮らしの両親が、村のみなさまにお世話になりありがとうございます。

村のみなさま、良いところを残して、ますます発展してください。

◀ 左はしが私です



フォトウォッチング 36 魚梁瀬のオバちゃんたち

魚梁瀬の元気の源

少子高齢化が進むなか、魚梁瀬地区も例外ではなく高齢化と、人口も減少の一途をたどっている。しかし、そんなことなど吹き飛ばさんかのごとく魚梁瀬のオバちゃんたちの笑い声は『魚梁瀬もまだまだ元気やで！』と言わんばかりに地区を元気付けている。

なかでも魚梁瀬森林保養センター運営会を立ち上げ、運営にいき詰まっていた魚梁瀬温泉に生気を吹き込み、今年の四月から運営をしているパワーはすごい。地区に、より密着となった同施設には村民の足も少しずつではあるが戻ってきているようである。そのオバちゃんたち運営会員十名の平均年齢はなんと六十八歳。でもまだまだ若い者には負けていない。日曜、祝日には温泉の運営費を賄うためにお弁当を作り地区民やキャンプ場に来たお客さんなどに販売をしている。「地区の人のみならず村民みなさんにこの施設を利用してもらいたい。ここを憩いの場にしてくれたら、その一言に尽きます」とオバちゃんたちは言う。

また、魚梁瀬森林公園オートキャンプ場の運営にもこの

オバちゃんたちの力はなくてはならないものになっている。ログハウスにお客さんが泊まった翌日には朝から役場支所前にオバちゃんたちの笑い声が集まり、みんなでログハウスの掃除、シート交換などを行うためキャンプ場へ向かう。元気に仕事着で出かけていく後ろ姿はとても頼もしく勇ましい。

地区の施設を住民が支えていく。どこの市町村とも合併をしないと自立を決めた馬路村の向かうべき姿を映しだしているようにも感じる。



◀ 三人寄ればがましいでは!?

馬路村の歴史と伝説



〈通算第124回〉

馬路公民館長 山中 巖

峰権現・瀧明神の伝記

謹言抑両社建立之意趣者
往古享保年中柳瀬奥於干
谷山祖父岡徳左衛門辰相
琢磨良村ヲ千時俊嶺有リ
靈社里人傳曰 号峰権現
祈誓而□小社不動明王爲
本地 号瀧明神両社□祭
以正五九月二十八日式之
祈山中安全雨水順時適意
之時然良材仕成畢 幾空
谷足音人跡絶故木葉埋社
頭寂寞累月累歳 靈社
破壊痛哉 故以清淨地欲
移之日日念之 忽得時
宝曆十一辛巳天當時境内
以有鎮守明神以両社□
協立志願悉成就於此神明
與日月争充神徳布近里予

家門繁栄 萬用適意□而
祈彭祖之寿 云爾

本施主田野浦住

岡徳左衛門辰相
當寺境内工勸請施主

岡徳左衛門頼忠
社領地寄附施主

岡徳三郎忠淳
千時明和八辛卯歳
正月良辰

右記の古文書の要点

右の文章は漢文調で記されてお
り読みにくいと思う。不肖特に「天」を「年」と、「當寺」を「城福寺」と理解するに時間を要した。魚梁瀬の奥、谷山北平山のお

留山に於いて、享保年中、一七一六年より一七三〇年の間（約二百九十余年前）田野浦の岡徳左衛門辰相が良材を仕成さんとするも天候不順、怪我が人が続出、里人が言うには、この峻嶺の地に古来峰権現・瀧明神と号す靈妙な社があつてその祟りかも知れないと。

よつて両社に祈願し小社を建立する。これより雨水は順調に、安全に伐採を終る。以来人々の詣でることなく落葉、枯枝が社前を埋める状態となる。故に清淨の地へ移さんとして宝歴十一年巳の年（天は年の意味）一七六一年（二百三十五年前）魚梁瀬城福寺の境内、鎮守巖島神社の脇に遷宮、脇立総稱して鎮守明神と号し、神徳が高かつたので里人は正月五月九月各二十八日に祭礼を行った。なお、家門の繁栄、彭祖の寿等を祈つた。

以上述べたとおりである。

注

- 一 施主：建築主・檀那・寺や僧に物を施す人
- 二 勸請：神仏の靈を他の土地に移して祭ること

三 社領地寄附

北川郷釋迦ヶ生村の新田約一反畝、城福寺へ寄附

四 明和八年（一七七二）

二百二十五年前 正月良辰（吉日）

五 城福寺

1 鎌倉時代においては、二つの説がある。
イ平氏が魚梁瀬に住んだ頃、門脇氏の持仏堂で、門脇一族が祠つたといふ。（上屋敷）
ロ平氏が魚梁瀬に落着くと城を築き、のちその城跡に城福寺を建立した。

2 近世に於いては、水没前の魚梁瀬小学校の敷地に大きくて立派な城福寺が存したといふ。
私たちが青年時代には、魚梁瀬小学校の西北隅に小さなお堂（城福寺）が存した。

3 水没後の城福寺は現在のとおりである。

六 巖島神社

広島県宮島町に在り、国宝など多数の文化財を蔵す。平清盛はじめ平氏一門の尊崇が厚かつた。魚梁瀬平氏は巖島神社を城福寺の境内へ勸請した。

他に谷山へ勸請したとの説もある。

七 明和八年、岡徳三郎が「社領地寄附」とあるは、城福寺へ、北川郷釋迦ヶ生村の新田約一反三畝である。

これは魚梁瀬地区の財産となり、その後魚梁瀬村の財産となる。明治以降、森林鉄道開設の際行き当たりとなり売却する。それ以降は省略する。



城福寺 魚梁瀬地区の北方（山裾）存す

赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



はやと
清岡 隼斗 くん (東川)

平成18年3月28日生

(保護者 清岡富雄・美代さん)

はじめまして。清岡隼斗です。よく女の子に間違われるけど、男の子です。「おとなしいねえ」って言ってもらえますが、家では元氣いっぱい！最近は発声練習も始めています。「声がよくとおるねえ」って言われます。
僕はお風呂が大好き。でも熱いのはキライ。ちよつとも熱かったら、泣いて伝えています。
僕を見かけたら声をかけてください。馬路村の皆さん、よろしく願います。



あまね
高橋 天音 さん (相名)

平成18年3月31日生

(保護者 高橋 晃・美穂さん)

皆さんはじめまして。私の名前は高橋天音です。七カ月を無事に迎え、毎日元気に遊んでいます。お風呂がとても大好きで、泣いていてもすぐご機嫌になります。お風呂の中で泳ぎまわるのが楽しいです。最近よく笑い、大きな声を出してパパ・ママに話しかけています。夜になると、急に泣きたくなり、そりくり返って泣くので、あまバウアーと呼ばれています。
皆さん、私を見かけたら遊んでください。

馬路村俳壇

竜胆の咲きしばかりの野分かな
空映す竜胆空を欲しいまま
窓照らす月明るさに友徳ぶ

氏原 淑

暮れそめて霧立ちこめるダムの上
見上げれば夕焼色の罌雲
台風の前づく夜のテレビ観る

山崎 裕之

山里の空の高さよ星月夜
天と地の失せるばかりに稲びかり
香ばしき顔みあわせて胡麻の味

高芝 栄子

真似絵文字描きはじめて秋の空
手のひらに転がし胡麻の白きかな
葛咲くや橋の向こうの字魚梁瀬
をちこち

高芝 俊二

張りあうてこおろぎ鳴くや家の隅
夕暮や草焼く畑のきりぎりす
ひとせま草と競ひて萋の花

中屋 良子

歛立てて青鷺翔つを見てゐたり
四十年ぶりに屋根替え秋暑し
少年や熊蟬の腹まだうごく

山崎喜久子

鏡台にうす紅ほしき合歡の花
紅萩や蝶の形をくずすまじ

山本 美幸

ひとりにはひとりの自由ちちろ虫
かぶりつき肘までつたう桃の汁
肩書きのいらぬ暮らしや鮎脛なまず

池 蘭子

お
知
ら
せ

日 日時
所 場所
申 申し込み先
問 問い合わせ先
Tel 電話

第7回 柚子とりボランティア

馬路中学校ではボランティア活動の一環として、地域の特色を生かした柚子収穫のボランティア活動を実施しています。こうした体験を通して、柚子生産の苦労や生きがいなどを肌で感じとり、地域を考える場としたいと思います。ぜひこうした趣旨をご理解いただき、体験の場を提供していただきますようご協力よろしく申し上げます。

馬路健康づくり

婦人会からのお願い

複 十 字

シ ー ル 運 動

結核について

知ってください

みなさんは結核と聞いて、どう思われますか？
結核は過去の病気…？
いいえ決してそうではありません。世界では毎年900万人が発病、200万人が死亡、日本では約3万人が発病し、2300人が死亡する国内最大級の感染症なのです。高知県では2004年には184人が発病し、13人が亡くなっています。

結核予防会等が中心となって活動しています複十字シール募金は、途上国の結核患者を救っています。結核治療に最も大切な初期2ヵ月の薬代が一人1,000円、治癒までの6ヵ月が2,000円でまかなえます。

結核撲滅のための複十字シール募金にご協力をお願いします。

合法性証明の無い木材は、市場等での販売ができません！

◇10月1日より、市場等へ出荷する木材には、市町村等が発行する「合法伐採証明」が必要になります。

◇「合法伐採証明」を得るためには、伐採の届け出が必要です。

*詳しくは、役場または最寄りの県林業事務所にご相談ください。

なお、詳しい内容は、高知県林業振興課ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.kochi.jp/ringyou/index.html>



林業事務所	電話番号
安芸林業事務所	0887-34-1181
中央東林業事務所	0887-53-0555
嶺北林業振興事務所	0887-82-0162
中央西林業事務所	088-893-3612
須崎林業事務所	0889-42-2371
幡多林業事務所	0880-35-5977
役場産業建設課	44-2336

『小さなシールに 大きな愛を』



全国地域安全運動

10月11日(水)～10月20日(金)

みんなで守ろう/子どもの安全

～ いかのおすしで5つの約束! ～

- ① しらない人について **い**か
- ② しらない人の車に **の**らない
- ③ **お**おきなこえでたすけを呼ぶ
- ④ 大人のいる方に **す**ぐにげる
- ⑤ ちかくのおとなやいへのひとに **し**らせる

～地域のみんなで子どもたちを犯罪から守りましょう～
安芸警察署・安芸地区地域安全協会

村内あちらこちら



8月2日 小学校中芸水泳記録会



8月3日 新着任教職員研修



8月15日 馬路納涼祭



9月12日 魚梁瀬地区敬老会



9月23日 馬路保・小・中合同運動会

村のできごと

《8 月》●

- 1日 桂都丸さん寄席（馬路温泉）
- 2日 ドイツスポーツ少年団来村（～6日）
第31回 小学校中芸水泳記録会（北川中）
- 3日 新着任教職員研修
- 11日 人権相談及び1日行政相談（魚梁瀬多目的施設）
- 12日 中学校野球選手権大会開会
- 15日 馬路納涼祭
- 20日 魚梁瀬温泉まつり
- 22日 馬路・魚梁瀬保育所交流会（馬路）
- 25日 キャリア教育研修会
- 31日 地域教育コーディネーター研修会

《9 月》●

- 1日 村内小・中学校始業式
- 2日 中学校秋季卓球選手権大会（～3日）
- 3日 馬路地区自主防災訓練
- 8日 1日行政相談（就業改善センター）
- 12日 魚梁瀬地区敬老会
- 13日 馬路地区敬老会
- 17日 第26回 馬路おしどりマラソン大会
- 20日 第5回 馬路村議会定例会開会（～25日）
- 21日 秋の全国交通安全運動（～30日）
- 23日 馬路保・小・中合同運動会
- 24日 魚梁瀬保・小・中合同運動会
- 27日 中学校中芸地区陸上大会

編集後記

9月16日から、馬路青年団が、夢の沖縄旅行に行ってきました。台風の影響が心配されましたが、日ごろの行いが良かったのか無事予定どおりに帰村できたようです。

「餅をついて海外(?)旅行に行こう」と始めた餅つきですが、さて、次はどのような夢に向かって、頑張ってくださいようか。

(ホ)

10月・11月 むらの行事予定

月	10 月				月	11 月			
日	日	月	火	水	日	水	木	金	土
1	日			第15回 おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会	1	水			魚梁瀬いきいき百歳体操
2	月				2	木			馬路健康ほっとサロン
3	火				3	金			文化の日
4	水			健康づくり婦人会パレード 魚梁瀬いきいき百歳体操	4	土			山師達人選手権（馬路村民グラウンド） 安芸郡市駅伝競走大会
5	木			馬路健康ほっとサロン	5	日			
6	金				6	月			職場体験学習（馬中）（魚中）（～10日）
7	土			県バスケット秋季大会（馬中）（～8日）	7	火			絵本のよみきかせ（多目的施設）10:30～11:00
8	日			馬路地区村民運動会	8	水			魚梁瀬子育て支援教室 秋の学び講座 魚梁瀬健康ほっとサロン
9	月			体育の日	9	木			馬路健康ほっとサロン 集団宿泊訓練（魚小）（馬小）（～10日）
10	火			絵本のよみきかせ（多目的施設）10:30～11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30～17:15	10	金			行政相談（就業改善センター）9:30～12:00
11	水			魚梁瀬保育所親子バス遠足 魚梁瀬健康ほっとサロン	11	土			
12	木			安芸郡市秋季陸上大会 馬路健康ほっとサロン 魚梁瀬熊野神社大祭（～14日）	12	日			
13	金			人権、行政相談（就業改善センター）10:00～15:00	13	月			馬小自由参観日（～15日）
14	土				14	火			わくわくキッズ英語広場 16:30～17:15
15	日			日曜参観日（馬小）	15	水			魚梁瀬いきいき百歳体操
16	月			ポリオ予防接種	16	木			馬路健康ほっとサロン
17	火				17	金			乳幼児健診（田野町保健センター）
18	水			魚梁瀬いきいき百歳体操	18	土			
19	木			馬路子育て支援教室 馬路健康ほっとサロン	19	日			
20	金			馬路保育所運動会 3才児健診 PTA交通指導（奈半利保健センター）	20	月			袖子とりボランティア（馬中） PTA交通指導（馬小）
21	土			高知馬路会（コミュニティーセンターうまじ） ふるさとまつり（～23日）	21	火			絵本のよみきかせ（交流センター）10:30～11:00
22	日			魚梁瀬地区村民運動会	22	水			魚梁瀬健康ほっとサロン
23	月				23	木			勤労感謝の日
24	火			絵本のよみきかせ（交流センター）10:30～11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30～17:15	24	金			1歳6ヵ月児健診（安田町保健センター）
25	水			魚梁瀬健康ほっとサロン	25	土			
26	木			馬路健康ほっとサロン 社会見学（魚小）	26	日			参観日（魚中）
27	金			乳幼児健診（田野町保健センター）	27	月			犬・猫ひきとり ポリオ予防接種
28	土				28	火			わくわくキッズ英語広場 16:30～17:15
29	日				29	水			魚梁瀬いきいき百歳体操
30	月			犬・猫ひきとり ハロウィン（馬小）	30	木			馬路子育て支援教室 馬路健康ほっとサロン
31	火								

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
8月	0	5	0	5	2	6	0	8	1,132
9月	1	6	0	7	3	1	0	4	1,135

（馬路 873人、358世帯・魚梁瀬 262人、129世帯）

馬路村特別村民 1,923人（9月30日現在）

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL0887-44-2216 FAX0887-42-1010

E-mail adress umaji-v@kochinet.ed.jp

印 刷：有限会社 大 鳥（安芸タイプ）